



# 三条別院のご案内

## 三条別院に想う

「おたや」この言葉を聞くと脳裏に浮かぶのは五十数年前高田に住んでいて、秋も深まった頃、高田別院の報恩講（あの頃は報恩講とは知らなかった）で弟と二人で出店に行ったことです。楽しく心がはずんだのを今でも思い出します。あれから数十年私が、三条別院の門を初めてくぐったのは、仏具のおみがきの時でした。家庭にある仏具とは大違いで、数倍大きいものでした。汗を流しながら一生懸命に力を込めてみがきピカピカになった時の感動は格別なものでした。あの時の感動は十五年経った今でも変わりありません。

その間私は、推進員の講習会に参加し、本山で帰敬式を受けたり、義父が亡くなった時にご縁があり三条別院にお墓を建立させていただいたり、家内が真宗学院を終了し得度させてもらったり、ますます三条別院との関わりが深くなってきました。

三条別院の職員から、行事などがある時にはお手伝いの声をかけられ、内心うれしく別院に足を運んでいます。そんなお手伝い仲間が話し合い、三条別院を護持しようと「有志の会」を結成しました。有志の会のメンバーはまだ少な

真宗大谷派 三条別院

TEL : 0256-33-0007

E-mail : sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

いのですが、別院に少しでも役立ちたいという想いは全員が共有しています。私自身聞法はもとより、色々なお手伝いを行う事で気持ち落ち着き、心のよりどころになっていきます。

昨年から三条別院報恩講実行委員会のメンバーに選出され、おどろきと名譽な事と感じ、今までのご縁の万分の一でも報いたいと肩の力を抜いて精いっぱい努めたいと思っています。そして今年も、秋の別院奉仕研修会での仏具おみがき作業に喜んで参加したいと思っています。新しく改装された本堂で。

合掌

「三条別院門徒 米山久雄氏」

※原稿執筆は十月です。

○次回の「三条別院に想う」は、

多田 誓氏（第十組尊徳寺）より

ご執筆いただきます



## 御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【十一月二十八日（金）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

正信偈 真四句目下 念仏讚 洵五

和讃 回口 次第六首 回向 願以此功德

## ◎今月の法話講師

巨谷 学氏（第十組善了寺）

◇今後の講師一覧

十二月 北島 栄誠氏（第十一組長福寺）

## ■定例法話会のご案内

毎月十三日は、「両度の命日」と呼ばれている前門首のご命日です。また、蓮如上人も御文の中で、この「両度の命日」についてお書きになられています。（四帖目十二通）。新しくなった旧御堂で仏法に触れるひと時を味わいませんか。皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日

※八月、一月は除く

午後一時三十分より  
（一時間程度）



【恵信尼文書・七不思議】

◇場所 三条別院 仮本堂  
◇講師 九月～十二月  
富沢慶栄氏 第十一組超願寺

※大盛況に終わった「親鸞とむむの大地展」。新潟親鸞堂と事務局の富沢氏に、全四回で「法話をお願いしております。第二回（十月）は、「親鸞聖人越後七不思議の薬石効果と七不思議弁当」についてお話いただきました。実際に歴史博物館に足を運んだ方は、展覧会の舞台裏の話もお聞きできて楽しいかもしれません。ぜひお参りください！

### ■別院声明教室のご案内

今年度前半は普通寺院の報恩講のお勤めを中心に学びます。是非一緒に学びましょう。

- ◇開催日 十二月十一日（木）
- ◇時間 午後六時より午後八時まで
- ◇講習内容 正信偈 真四句目下 念仏讃 淘五
- ◇講師 源川秀教氏（第十一組 圓満寺）
- ◇持ち物 『大谷聲明集上』、念珠、筆記具
- ◇参加費 五〇〇円／回

### ■別院書道教室のご案内

- ◇開催日 毎月二回（第二、第四水曜日）
- ◇時間 午後六時三十分～八時
- ◇講師 木原光威氏（新潟県書道協会理事）
- ◇謝 二五〇〇円（テキスト代含む）

### ■別院奉仕研修について

先達の篤き御懇念によつて護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませんか。ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方（団体）の、冥加金は左記のとおりです。

#### ◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円
- ◎食事代（昼・夕食は業者発注のため）
  - ・朝食代 五〇〇円
  - ・昼食代 一、〇〇〇円程度
  - ・夕食代 一、三〇〇円程度

なお、近日中に、皆様の御懇念により御修復が完了した本堂・諸殿を会場とした、「別院特別参拝」についてご案内させていただきます。

### ■同朋会館に宿泊される方へお願い

同朋会館に宿泊される方は、宿泊当日に同朋会館一階の事務所にございます宿泊者帳に記帳してください。その後、シーツクリーニング代五〇〇円とシーツを交換させていただきます。

なお、宿泊される方は、翌朝七時より本堂にて晨朝が勤まりますので、お参りいただきますようお願い致します。

### ■三条別院巡回について

かつて三条別院の御影をお迎えし、各門徒のお宅で聞法会が頻繁に行われておりました。しかし、時代の流れや、世代の交代で今では数えるほどしか行われていません。ご門徒の皆様をはじめ有縁の方にご案内いただき、三条別院巡回がより多くの方々のお念仏をいただく縁となり、願っております。

※巡回の曜日・時間等はできるかぎりご都合に合わせてまいりますので、お気軽にご相談ください。

### ◇◇編集後記◇◇

しないためにする。そうすると、することができる。最近、長尾雅人の『維摩経を読む』が岩波現代文庫で復刊されたので、こんな表現を試してみた。報恩講に忙殺されないために、深夜まで仕事を続ける。余裕を持つために、根づめて仕事を続ける。そうして、還座式、本堂等御修復完了奉告法要を無事に終え、報恩講を何とか迎えることができ、報恩講を終えることができ。そして、今、日常業務の傍らに片付をしている。原理的に「休息」が存在しないような、そんないのちを生きる私たち一人一人が身を粉にしながら（大げさか？）、お取り越し報恩講を「荘厳」しているのだろう。（齋木）

※次号は報恩講特別号です。